

杜の伝言板

ゆるるる

家サいるより  
みんなとあづまるほうが  
元気になん  
のっしや



特集 復興への道

- 拠点完成! 地域で支える子育て支援へ  
NPO法人ピースジャム
- 子どもを見まもり育てる地域づくり  
NPO法人にじろくレヨン
- 女性の手仕事を活かして感謝をつなぐ  
一般社団法人WATALIS

- 住民の引き立て役に徹するまちづくり  
NPO法人Azuma-re
- 出会い、つながり、助け合い  
地域生活支援オレンジねっと
- トピックス  
「新たな自分を発見する夏—NPOで高校生の夏ボラ体験2014—」
- みやぎNPOプラザからのお知らせ  
「NPOのための『コミュニティ・ビジネス相談』始まります」
- 今月の助成金情報
- information

# 拠点完成!

## 地域で支える子育て支援へ

### ●NPO法人ピースジャム

気仙沼市で母子支援を行っているNPO法人ピースジャム。その活動のきっかけは、震災直後の物資不足でした。自身生後間もない娘の親であったピースジャム代表の佐藤賢さんは、ミルクや乳児用品が手に入らず困惑する気仙沼市内の母親たちの姿を見て、事態の深刻さを悟りました。

「祝福され生まれてきた生命が災害により脅かされている。子どもにもしものことがあったら親はどんな気持ちで一生を過ごすことになるのか」。それから、ミルクやおむつを求めて市外を奔走しては、市内の避難所で母親たちに物資を配る日々が始まりました。継続的な支援を行うため、地元の間や全国の共感者をも巻き込み、ピースジャムが立ち上がりました。

### ●子育てしながら働ける環境を

震災直後の緊急時を乗り切ると、新たな課題が表面化します。被災により多くの家庭で働き手が失業した

ため、収入源を持っていないことでした。生活費を切り詰めた状況では、子育てにも悪影響が出るとピースジャムは考えました。こうして震災後の六月からピースジャムによる母親たちの雇用環境改善が始まりました。

母親たちが収入を得られるよう、ピースジャムでは母親たちとともにジャム作りと縫製品作りを行っています。もちろん、働きに出るからといって母親たちは子どもをどこかに預ける必要はありません。ピースジャムでは子どもを安心して預けられる場も同時に用意しているからです。

「なぜ、女性たちは育児か仕事のどちらかを二極化し選択しなければならぬのか。子どもがいない地域には未来はないのに、子どもを安心して産み、育てられる環境がない」。もともと、佐藤さんはこのような疑問を抱いていました。ジャム作り、縫製品作りの場合は、同時に母親たちの子育てに関する知識や情報の共有の場でもあります。

### ●希望が詰まった新拠点で

ピースジャムは二〇一二年五月にNPO法人化。ちょうど同じ頃、ピースジャムではあるプロジェクトが立ち上がっていました。ジャム・縫製品作りの工房機能、託児施設機能を合わせ持ち、かつ地域の住民へも開放されたコミュニティスペースを気仙沼市内に作ることです。

販売目的では気仙沼市内でキッチンを確保できず、これまでピースジャムは隣町、岩手県一関市千厩にジャム作りの拠点を確保していました。そのため、ジャム作りのたびに母子を気仙沼市内から千厩まで送迎する必要があったのです。

建設にあたっては、「タケダいのちとくらし再生プログラム」による助成金を申請。当初は二〇一三年三月完成予定でしたが、全県規模の建設需要の高まりによって資材が高騰し、工期も遅れました。資材の高騰により、予算を上回る経費がかかることになりましたが、不足分はピースジャムが負担し、また自分たちで可能な作業はできる限り自らの手で行い補うことになりました。

そして、今年五月、待ちに待ったコミュニティスペースの完成です。そのスペースは公園を有する工房で、「日常的な地域の母親たちの総合的な情報交換の場」、そして「子育てに関する地域ネットワーク拠点」



今年四月、竣工間近の工房の前で(右:佐藤さん、左:副理事長齋藤研吾さん)

となりです。また、子どもたちと地域住民の日常的な交流の場を作ることで、「互いの知識や時間、空間を共有した、世代を越えた横断的な地域価値の『共有』を目指したい」と佐藤さんは考えています。

ピースジャムによる懐かしくも新しい「地域の拠り所」。ぜひ一睹ご覧ください。

※今回の記事はNPO法人 気仙沼まちづくりセンターの塚本卓さんが担当しました。

#### NPO法人ピースジャム

〒988-0843 気仙沼市落合254-1  
●TEL : 0226-29-6583  
●URL : <http://peace-jam.jimdo.com>

# 子どもを見まもり 育てる地域づくり

## ●NPO法人にじいるクレヨン

NPO法人にじいるクレヨンの代表柴田滋紀さんは、震災直後のことを思い出し、「子どもの言葉にしない声が聞こえたんです」と語り始めました。家族を失い、家を失い、仕事を失い、途方に暮れた大人たちの

プロジェクトを展開したり、ワークショップを開催したりしています。

### ●「大丈夫」が伝わる時、笑顔が戻る

周りで傷ついた子どもたちには、できることは、我慢することだけでした。震災前からお絵かき教室や剣道で子どもに接していた柴田さんには、ストレスをためた子どもたちの言葉にならないSOSが伝わってきたのです。そして、三月二十二日、自らが避難していた宮城県立石巻高等学校避難所で、遊びをとおして子どもたちの居場所を作ろうと「石巻子供避難所クラブ」を立ち上げました。その後、団体としての活動は広がり、二〇一二年三月二日、「NPO法人にじいるクレヨン」(以下、にじいるクレヨン)となり、今は震災後十年までを目処に、石巻市を中心に仮設の集会所やコミュニティセンターなどで子どもたちの見守りを行っている他、他団体と連携してプレイパークを運営したり、モザイクアートブ

「こんにちは」「あれ、久しぶり。退院したの？」スタッフの声かけは子どもたちへだけではなく、周りの大人たちにも向けられます。小学校へ入る前の子どもから高校生まで、一緒に来るおばあちゃんも、新しく来たボランティアさんも、ご近所さんもその場を作る一員になります。

工業団地の一角の何となく無機質に見えた仮設の風景も言葉を交わす人がいることで和やかな空気に変わってきます。そんな場にとけ込んでいる子どもたちも、震災後間もない頃は、なぐる、ける、つねる、つばを吐く、「死ね」と言う。日常的にそんな場面がみられました。それでも、続けているうちに、信頼関係ができ、「大丈夫」というのが子どもにも伝わった時、無表情が笑顔になり、落ち着きも戻ってきました。子どもは大人に愛情があるのかどうかを確

かめていたのかもしれない。しかし、狭い仮設では、居場所がなく、皆が我慢して生活しているのも事実です。建物事情だけでなく、「どうせ誰もいないし」と時間になっても帰らない子どももいます。子どもを安心させるのは、周りの人であり、環境です。にじいるクレヨンでも、はじめは荒れた子どもにも対応できず、傷つき、やめて行くボランティアさんをフォローしきれっていませんでした。しかし、毎回活動の終わりに、スタッフ全員で振り返り、共有する時間をとるようにすると、ボランティアさんも変わってきました。子どもたちの居場所づくりは、それを取り囲む大人たちも安心できる社会を

作ることなのかもしれません。

にじいるクレヨンがこれから目指すのは、子どもを軸にして、人と人がつながり、地域で子どもを見守ることができるような環境をつくることです。一つの地域には、PTA、学校、スポーツや文化活動を通し、子どもを見守っている大人たちがいます。でも、それはまだ横の連携が弱い。点で頑張っている面の見守りになっていないのが実情です。石巻市では、大規模な宅地造成が始まっています。また生活が一変することになるでしょう。にじいるクレヨンがまずチャレンジするのは、住宅が密集する向陽町と事務所のある大街道・釜町です。「地域で子どもたちを見守る意識を高めていきたい」と語る柴田代表の言葉が地域の新しいコミュニティ

### ●面で見守る子どもたちの居場所

にじいるクレヨンがこれから目指すのは、子どもを軸にして、人と人がつながり、地域で子どもを見守ることができるような環境をつくることです。一つの地域には、PTA、学校、スポーツや文化活動を通し、子どもを見守っている大人たちがいます。でも、それはまだ横の連携が弱い。点で頑張っている面の見守りになっていないのが実情です。石巻市では、大規模な宅地造成が始まっています。また生活が一変することになるでしょう。にじいるクレヨンがまずチャレンジするのは、住宅が密集する向陽町と事務所のある大街道・釜町です。「地域で子どもたちを見守る意識を高めていきたい」と語る柴田代表の言葉が地域の新しいコミュニティ



▶日課としている振り返りミーティング

### NPO法人にじいるクレヨン

〒986-0856 石巻市大街道南4-10-5  
 ヴィラ参番館202  
 ●TEL/FAX : 0225-25-5144  
 ●E-mail : info@nijiro-kureyon.jp

# 女性の手仕事を 活かして感謝をつなぐ

●一般社団法人WATALIS

かつて宮城県南の巨理町では、贈り物をするときには古い着物の残布で作っておいた「袋」に入れて渡すという風習がありました。「ふぐる」は、訛って「ぶぐる」となり、今に受け継がれています。

## ●●●FUGUROで感謝のお返し●●●

巨理町は伊達家ゆかりの小さな城下町。以前、JR巨理駅に隣接する悠里館(巨理町立郷土資料館)の学芸員をしていたWATALIS代表理事の引地恵さんは、民俗調査をした際、着物地の残布で作った巾着袋に出合い、巨理の感謝を包んで手渡す風習を知りました。

震災があった年の秋、被災して建物を取り壊すことになった巨理町内の呉服店から昭和の時代の古い生地を譲り受けることになり、この「ぶぐる」を再現しようと思いました。

手芸が得意な高校時代の友達の橋元あゆみさん(現理事)や妹の菊地喜久江さん(現理事)など巨理の女性たちなど四人が核となり、手仕事によ

るものづくりを通して、感謝の心を伝える返礼文化の継承や、町の復興を願うあらたなコミュニティーを生み出そうと活動し始めました。

製作するにあたって指導を仰いだ巨理の和裁の先生から「ぶぐる」を作るのは「作り手の心の癒しとして製作することなのか、被災地支援をしてくれた方々にお礼の気持ちの品として製作するのか、それともしっかりとした商品を目指して製作するのか」と問われ、引地さんは、製作するからにはしっかり商品として通る



▶WATALISの商品を紹介してくれた引地さん(左)と橋元さん(右)

▶手しごとワークショップの様子



「ぶぐる」を目指したいと答えたのでした。

その後、二〇一二年四月に任意団体WATALISを結成し、助成金を得て、被災地域の中に「人が集まり、楽しく交流する場」を創りたいと、「みんなde手しごとプロジェクト」の実行委員会を結成し、年間九十六回も「手しごと」を学ぶワークショップを開催しました。

一方、各方面から提供された着物を材料として製作を続け、デザインに工夫を重ね、縫製や仕上げの技術を進化させ、各地での復興支援バザーなどへの出品や受注をきっかけに、まとまった数の製作を始めました。

## ●●●女性の生活環境にあった働き方を●●●

昨年四月に一般社団法人となり、

発足のコアメンバーを中心に、地域の女性たちへ作り手の輪を広げています。昨年度に開催したワークショップでは、前年の受講者が講師を担うまで育ち、現在では約四十名の女性たちが関わるプロジェクトとなっています。

各自に応じた技術や時間のなかで手分けし、着物をほどこいて洗う、FUGUROを縫う、いちごストラップを作る、ネームやタグつけや商品管理など様々な作業があります。そしてこの作業は、作り手の自宅で行う内職形式をとっています。各自、子育てや介護、農作業などをしながらでも、自分のペースで作業できてもあります。

引地さんは、「これからふるさと巨理の未来を創るために、巨理の女性たちの小さな本気を、モノづくりを通して、世界に発信していきたい。」と意気込んでいます。確かな品質のFUGUROを一度ご覧ください。



### 一般社団法人WATALIS

- 〒989-2351 巨理郡巨理町字中町22
- TEL/FAX : 0223-35-7341
- E-mail : info@watalis.jp
- オンラインショップ : <http://watalis.com/>

# 住民の引き立て役に 徹するまちづくり

●NPO法人Azuma-re

五年前の二〇〇九年、栗原市内に住む四十代の男性四人が団体を立ち上げました。住んでいる地区も興味の対象もバラバラな四人でしたが、彼らには『地元を元気にしたい』という思いとそれぞれUターン者であるという事情が共通していました。

団体の名前はAzuma-re(以下、あづまーれ)。地方コミュニティの例に漏れず、人口減少に派生するコミュニティ維持課題を抱える栗原市において、彼らは地域内外の視点を持つことを活かしてその課題解決の道を探るうとしました。団体名には年齢、肩書き、地域に関係なく、人が集ってほしい、そんな意味が込められています。

## 六年目のCafe Azuma-re

あづまーれがまず始めたのがカフェ形式のまちづくり勉強会「Cafe Azuma-re」(以下、カフェ)でした。カフェでは、毎回法人の会員が「カフェマスター」となり、ゲストの選出、企画検討、運営

を担います。ゲストには市内で活躍する個人・団体を招き、その話を聞きます。ただし、カフェはただのセミナーではありません。ゲスト、参加者、運営の三者のネットワークづくりにも重点が置かれており、ワークショップなどを通じて、その場にいる全員が交流する機会が作られています。

カフェは二〇〇九年四月以降、東日本大震災が起こった二〇一一年を除き、毎月第二水曜日に開催され続け、



▶Cafe Azuma-reにて、参加者の交流をはかる千葉さん(左)

今年で六年目を迎えます。「初めのうちは『これでいいのか?』と自問しながらの開催だった。続けるうちに中だるみを感じることも」と話すのはあづまーれ代表理事の千葉和義さんです。

以前はカフェの参加者もあづまーれ側も、答えを求めすぎる傾向にあったと千葉さんは言います。それが今は、「カフェが続いていることが一番大事。続いていることが、活動として成立している証拠」と考えられるようになりました。「色々な人たちに登場してもらってつながりを作ってきた。ずっとそれを意識してきたのがいいんじゃない」と副理事長の柴田靖之さんも話しています。

## 指定管理者として

あづまーれは市民活動・コミュニティ支援組織として、二〇一〇年四月にNPO法人化し、それ以降栗原市市民活動支援センターの施設管理業務を市から受託してきました。

しかし、今年の四月からは委託業務としてではなく、指定管理者として支援センターの運営管理をする事になりました。指定管理者となったことで、あづまーれに委ねられる裁量が増え、これまでではわざわざ振り込む必要があった施設・設備の利料金を支援センター窓口で支払え

るようになったなど、利用者の利便性も向上しています。

指定管理者として一つ責任が重くなったあづまーれが今、ソフト事業として力を入れ始めているのはワークショップを活用した住民主体のまちづくりの支援です。具体的には、まずは自分たちが行っている手法を知ってもらうため、依頼のあった集まりに出向き短時間のアイスブレイク(※)を体験してもらう事からはじめています。

栗原市で活動する団体には地縁組織・生涯学習団体の割合が多く、そのような組織では、高齢化とともに体制が硬直化してきています。同様に会議や活動も形式化して、自由で活発な話し合いや活動が起こりにくくなっています。そこで雰囲気解きほぐし、フラットに意見を出せる場を増やそうとしています。

そこに参加する人・住む人、一人ひとりが持っている思い。それを引き出し、自ら課題解決のための具体的なアクションを起こすまでサポートしていくのがあづまーれの役割なのです。

### NPO法人Azuma-re

〒987-2216 栗原市築館伊豆2-6-1  
栗原市市民活動支援センター 2F 貸事務室2  
●TEL : 0228-22-1905  
●E-mail : azumare2009@gmail.com

※会議や集まりでの緊張感をほぐし、話し合いがスムーズに活発に行われることを目的とする技術

# 出合い、 つながり、 助け合い

## ●地域生活支援オレンジねっと

### 地域のお茶の間

仙台市泉区南光台の四条通りにある赤い屋根が目印の地域生活支援オレンジねっと。地域で困っている人をみんなで支えようと、二〇〇六年二月、ボランティア活動してきた仲間が集まって立ち上げた団体です。

商店街の空き店舗を活用した事務所は、地域のボランティアアステーション。ここでは行政や困っている方からの相談を受けて子どもの一時的預かりや障がい児の送迎、高齢者宅の家事手伝い、通院の付添などの生活支援を行っています。現在約四十名の活動会員の内、生活支援担当約二十五名が、一週間に約五十時間の支援を行っています。

また年四回、地域の課題や福祉情報などを掲載した、地域と住民を繋ぐ「地域情報誌ときめき通信」を七〇〇部発行し、南光台地域の町内会や小中学校幼稚園などに配布しています。これは一九九八年から南光台市民有志が発行してきましたが、二〇〇六年の二十九号以降オレンジねっとが引き継いだものです。

事務所の隣には、ふれあいサロンときめきカフェがあり、地域の人々や世代の人が気軽に立ち寄る交流の場となっています。サロンは、日中は囲碁や琴や歌、クラフトなどのサークル活動に、放課後は子どもの預かりや学習支援と多目的に活用されています。毎週火・金曜の午前中は、オレンジねっと主催の「脳の若返り教室」、五十代の活動会員が八名で担当し、九十代までの高齢者が、読み書き計算などの脳トレをした後、歌や体操、おしゃべりを楽しんでいます。東松島で被災して南光台に引っ越してきた八十代の女性は、「娘は働いていて日中は一人、ここに来てみなさんとお話してできるのがとても楽しい」と話してくれました。

サロンの隣の「ときめきカフェ」は地域のお茶の間。火曜から金曜まで開設し、水・木・金は、食生活改善推進員や宮城の食を伝える会の方にも協力をもらい、活動会員八名が交代で野菜いっぱいの手作りランチを

▲ボランティアの皆さんもカフェで一息



五〇〇円で提供しています。そのランチが好評で、最近は火曜も三三〇円で軽食を提供しています。

カフェの一角、手作り品の委託販売コーナーには、福祉施設や被災地の商品、市内の手作り作家さんの作品が所狭しと並べられています。

一年半前からカフェ活動している菊地敦子さんは、「生活にメリハリがついて楽しみが増えた」、事務局で六年活動している高橋あつ子さんは、「専業主婦の経験や自分の趣味を活かし更に自分を磨け、交流が広がって嬉しい」と話してくれました。

### つながり広がる支え合い

カフェは、認知症の高齢者、子育て中のお母さん方、介護中の世代な

どとつながる場にもなっています。そこで地域課題を解決する新しい事業を昨年度から開始しました。商店街活性化事業で繋がった団体や商店で「南光台ふれあいまちづくり実行委員会」を結成し、地域連携の祭りや、住民同士が地域課題を共有する「南光台しゃべり場」を五回開催、今年度は地域の資源を見える化する情報誌を作成中です。

また南光台の商店五店舗を繋ぎ、それぞれの専門性を活かした地域の名物商品を開発するプロジェクトチーム「イーねっと南光台」を結成。仙台市商店街活性化助成を活用して「お茶タルト」を開発し各店舗で販売、一か月で約一〇七〇個の売り上げがありました。

代表の荒川陽子さんは、「自分のことだけではなく、周りとの関係や社会のことを考える人が増えて、地域で困っている人をみんなで支えていける社会にしたい」と語ります。

オレンジねっとは、地域の人々が自由に集まり、自分の力や能力を活かしてお互いが助け合い、地域に笑顔を広げていきます。

### 地域生活支援オレンジねっと

- 〒981-8002 仙台市泉区南光台南1-1-23
- TEL : 022-251-6435
- FAX : 022-253-2872
- URL : <http://chiiki-orangenet.org/>

# 新たな自分を発見する夏

2014

## —NPOで高校生の夏ボラ体験—

今年で十二回目を迎える、NPOで高校生の夏ボラ体験(以下、夏ボラ)。

高校時代は、自身の進路や将来を選択する時期だからこそ、「自分たちの住んでいる地域の課題を解決するために日々奮闘しているNPOがあることを知ってほしい、そしてボランティアに踏み出す一歩になれば」という高校生への思いから夏ボラは始まりました。

昨年は、県内の二十校から一〇三名の高校生が福祉や子育て、国際交流、路上生活者支援といった様々な分野のNPOで活動しました。

受入団体にとっては、これからは担っていく高校生に団体の目的や活動を理解してもらおう機会でもあります。夏ボラプログラムでは、連続した三日間の体験を基本としているため、短期間ではありますが団体の日々の活動に触れることができます。

### 地元企業も、高校生を応援

高校生を受け入れるNPOに加え、地元企業からの協力を得て夏ボラ

ラを開催しています。

河北新報グループ企業十二社で構成される社会貢献団体かほく「108」クラブと東北労働金庫です。かほく「108」クラブでは、従業員の自発的な社会貢献活動を応援するために設立され、従業員有志の寄附により運営されています。

両者からは、資金提供を受けているだけではなく、高校生への教育面でも協力してもらっています。

夏ボラ体験前に、高校生にまずはNPOって何?を理解してもらおうと、そして体験先の団体と事前に顔合わせをし、不安を少しでも減らしてもらおうと、毎年体験前に事前学習会を開催しています。その場で、河北新報社からは、文章の書き方講座や、新聞の読み方講座など新聞社ならではの強みを活かした協力を得ています。文章を書くポイントを新聞で学び、体験を終え自分自身を振り返る体験談作成や、これからの学生生活に生かしてもらおうためです。事前学習会に参加した高校生は、「自分の考えをしっかりと持ち、それを伝

える努力をしてみようと思った」と話してくれました。

東北労働金庫からは、「お金の学校」と題し、キャッシュカードの使い方や消費者トラブルについて説明してもらいました。これから社会に出ていく高校生に、身近なところにお金のトラブルが潜んでいることを伝えていきます。

事前学習会が、実りあるものになり、その後の夏ボラ体験へ良いスタートが切れるよう、今年のプロگرام内容を練っているところです。

### 今年の夏ボラは

昨年お年寄りの皆さんへお弁当を届ける、配食サービスを行っている、NPO法人グループゆうでお弁当の盛りつけや配達を体験した高校生からは、「誰かに届ける側になったら、見栄えは気にしなければならぬ」と緊張した。完成すると、喜びと達成感を感じた」という体験談が届きました。体験を通して、学校生活



▶一つひとつのお弁当に思いをこめて盛りつけ(NPO法人グループゆう)

だけでは気づかない発見を体験先から得たことがわかります。

夏ボラの高校生を受入れた団体からは体験後、団体へ顔を出してくれる高校生もいたという話があり、地域のつながりがゆつくりと着実に生まれています。

今年新たに夏ボラを受入れていた多く団体は七団体で、計三十七団体の多様な分野で活動するNPO体です。きつと気になる団体があるはず!ぜひ地域のために日々活動している団体を自分の目で見て、体験して知ってください。

今年も、六月上旬に受入募集要項を作成、宮城県の全高等学校へ配布し、募集を開始しました。各学校の先生を通じて、お申込みください。

### NPOで高校生の夏ボラ体験2014

- 夏ボラ体験先…37団体
- 主催：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 共催：かほく「108」クラブ
- 協賛：河北新報グループ12社  
東北労働金庫
- 問合せ：NPO法人杜の伝言板ゆるる  
※連絡先は、裏表紙をご覧ください。



▲子どもたちと万華鏡づくり(NPO法人せんだい杜の子ども劇場)

みやぎNPOプラザでは、宮城県内のNPO・市民活動団体の活動を支援するため、各分野の専門家が対応する『専門相談』を開催しています。

NPOがミッションに基づいた地域サービスを継続的に行うため、ビジネスの視点で、NPOの運営を考える『経営相談』を行ってきましたが、今年度より『コミュニティ・ビジネス相談』へリニューアル。六月十九日(木)に開催いたします。

以前同様、NPOの商品開発や事業計画の見直し、販路拡大などの相談のほか、コミュニティ・ビジネスを始めたいNPOの相談にも対応していきます。

どんな相談ができる??

地域(コミュニティ)におけるニーズや課題に対応するための事業のことをコミュニティ・ビジネスと言います。ここ数年、NPOもその担い手のひとつとして、地域から期待と関心を集めています。

そんな中、ボランティアベースで始まった活動が多いため、事業に掛かる資金計画の立て方や販路の開拓、市場調査の方法などの経験に乏しい面があります。

まずは、どんな地域資源を活用し、地域を元気にしたいかを整理し、

相談を担当する波多野卓司さん



継続的な事業運営に何が必要かを相談してみませんか? 現在取り組んでいる事業を見直したいという団体も大歓迎です。

団体のミッションを振り返り、課題解決の手段としてのコミュニティ・ビジネスの手法を活かしてみませんか?

相談を担当してくれるのは、全国からひっぱりだこの経営コンサルタント・中小企業診断士の波多野卓司さんです。宮城県内外で、創業・経営支援に日々全力投球されています。

熱血コンサルタントから相談者の皆様へ

地域支援をめざすNPOにとって何より重要な課題の一つが『継続性』ではないでしょうか。そして継続するためには、次の四つのプロセスを丁寧に踏んでいくことが必要になります。

- ①商品・サービスづくりに全力投球すること
- ②商品・サービスを正確に訴求して、世の中に伝えること
- ③商品・サービス提供によって対価を得ること(それを運営費に充当する)
- ④人を育てていくこと

これら四つのいずれかを『もう一度きちんと考えてみたい』というみなさんからのご相談をお待ちしています。

年に二回を予定しています。貴重な機会です。ふるってご参加ください。

プラザのNPO相談

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談	毎週水曜	13:00~17:00
コミュニティ・ビジネス相談	6/19(木)	13:00~17:00
会計・税務相談	6/26(木)、7/29(火)	13:00~17:00
融資なんでも相談	8/21(木)	13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
(指定管理者・特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

http://www.miyagi-npo.gr.jp/

## 2014年度 ファイザープログラム ～「中堅世代」の心とからだのヘルスケア

- 助成対象：社会において様々な役割を担っている人々や、難病・長期疾病・障がいなどのために社会参加に困難を抱える人々などが、中堅世代(主に30～50代)として生き生きと充実した社会生活を送れるようになるための下記のような取り組み  
(1)「当事者性」、「専門性」、「市民性」を尊重した取り組み  
(2)既存の公的制度や施策では実現することが難しい取り組み  
(3)就労を始めとする社会参加を目指した取り組み
- 対象団体：原則として2年以上の活動実績を持つ民間の非営利団体(法人格の有無は不問)
- 助成金額：1件あたり上限300万円  
(総額1,500万円、7～8件程度)
- 助成期間：2015年1月1日～12月31日までの1年間
- 応募期間：6月9日(月)～6月20日(金) 必着
- 連絡先：ファイザープログラム事務局  
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3  
日本橋MIビル1階  
NPO法人市民社会創造ファンド(坂本・武藤)  
TEL：03-5623-5055 FAX：03-5623-5057

## 文化活動に対する 支援・助成・協力事業(第16回)

- 事業の種類：(1)支援事業  
市民による自主的な文化事業で、広く参加者、鑑賞者に開かれた事業に対し、文化情報誌「季刊まちりょく」を作成し広報支援を行います。
- (2)助成事業  
地域の魅力や活力を高める文化振興事業、震災復興に貢献する文化振興事業等、所定の評価項目に該当する事業の経費の一部を助成します。助成採択の可否および助成額は、外部審査委員による審査会を経て決定します。  
助成金額の上限：一事業につき上限160万円  
(収支差額の範囲内かつ助成対象経費の2分の1以内)
- 助成対象：仙台市内の団体(個人)が主催し実施する事業、または仙台市外の団体(個人)が主催し、仙台市内で実施する事業
- 助成期間：平成26年10月～平成27年9月までに実施または開始される事業、事業形態例は下記のとおり。  
・公演 ・展覧会 ・上映会 ・講演会  
・シンポジウム ・ワークショップ ・セミナー  
・出版 ・複合型イベントなど  
※複数年度にわたって実施される事業計画も対象となります
- 募集締切：6月16日(月)～6月22日(日)  
※支援事業のみの申請の場合は、6月30日(月)まで受付  
※詳しくは仙台市市民文化事業団 支援・助成・協力事業 募集案内チラシもしくは、仙台市市民文化事業団ホームページをご覧ください。
- 連絡先：公益財団法人仙台市市民文化事業団  
総務課企画調整係  
〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5  
仙台市青年文化センター内  
TEL：022-727-1875 FAX：022-276-2108

## 明治安田生命保険相互会社 地域支え合い活動 助成プログラム

- 助成内容：高齢者が安心感を持って、地域で自分らしく暮らし続けるための、配食サービス、会食サービス、孤立予防のための居場所運営、生活助け合い、見守りなどの活動に対して、下記の助成を行います。  
※行政等から全面的委託を受けている事業・介護保険事業は含みません
- ①活動立ち上げ資金の助成  
近い将来活動を始める具体的な計画があること(すでに事業を行っている場合や新規拠点を増設・移転する場合を含まない)
- ②備品購入資金の助成  
現在の活動において必要な備品が不足しており、この助成により運営が円滑化・活性化されること
- 対象団体：市民参加型を基本としたボランティア団体・NPO等の非営利団体
- 助成金額：総額150万円  
①上限15万円  
②全国老人給食協会会員団体 上限30万円  
その他の団体 上限15万円
- 募集締切：6月30日(月) 必着
- 連絡先：一般社団法人全国老人給食協会 事務局  
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21  
TEL：03-5426-2547 FAX：03-5426-2548

## 平成26年度 青少年スポーツ振興に関する助成金(後期)

- 対象団体：青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励しまたは自ら行い、かつ3年以上継続して活動している、以下の要件を満たす団体  
1)スポーツ振興を主たる目的とする社団法人又は財団法人(公益・一般)  
2)上記以外の団体で、所定の要件を備えるNPO法人等の団体
- 対象期間：平成26年10月～平成27年3月の事業
- 助成金額：概ね100万円以内(年度内に予定する1つの事業予算の2分の1)
- 募集締切：6月30日(月) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団  
〒113-8543 東京都文京区湯島3-23-13  
ヨネックス株式会社内  
TEL：03-3839-7195 FAX：03-3839-7196  
E-mail：zaidan@yonex.co.jp

## こ～ぷほっとわ～く助成金 福祉活動・研究助成(前期)

- 助成対象：高齢者・障がい者・児童の生活支援活動、支援施設づくり(改装、備品の購入を含む)、住みよい社会を作るための調査・研究活動、交流集会・研究会・シンポジウムの開催等の非営利活動。その他、上記の目的を達成するために必要な事業
- 対象団体：宮城県内で活動する非営利の団体・個人(法人格の有無は不問)
- 助成金額：原則として上限50万円(講演会・フォーラム・演奏会などの開催に対しては上限10万円を限度に助成)
- 募集締切：7月20日(日) 消印有効
- 連絡先：みやぎ生協生活文化部 こ～ぷほっとわ～く助成金係  
TEL：022-218-5331 FAX：022-218-3663  
E-mail：sn.mtasukeai\_jimu@todock.jp

## 6/28 第11回さい帯血バンク支援 親と子のふれあいコンサート

本コンサートは、宮城県内におけるさい帯血バンクへの協力呼びかけを目的として実施します。さい帯血がお母さんと赤ちゃんを結ぶさずなであることから、親子で楽しみながら質の高い音楽に親しんでもらうことが基本コンセプトです。なじみのあるクラシック曲を中心とした演奏に出演者によるトークを織り交ぜ、会場参加企画も盛り込んだ内容です。

- 日時：6月28日(土) 14:00～15:30(開場13:30～)
- 場所：仙台市太白区文化センター楽楽ホール
- 入場料：シングル券2,000円(当日2,500円)、ペア券3,000円 ※全席自由。3歳以下で座席を使われないお子さまは無料
- チケット：藤崎、S-PAL仙台パルショップ、ヤマハミュージッククリテイリング仙台店、カワイミュージックショップ仙台、横田や、こどものほんのみせポランにて取扱い
- 主催：NPO法人さい帯血バンクサポート宮城
- 連絡先：担当：長田  
TEL/FAX：022-342-7425  
E-mail：miyagicb@gmail.com  
URL：http://www.k5.dion.ne.jp/~miyagicb/oyakol1.html

## 6/28 MELON環境市民講座in気仙沼 復興とエネルギーを考えるシンポジウム

被災地だからこそできる、将来を見据えたエネルギーとは何かを考えるシンポジウムです。地域の環境を考慮したエネルギーの使い方、さらなる省エネはどうすればよいかを考えます。午前中の工作教室は「LEDランタン」を作ります。

- 日時：6月28日(土) 10:00～16:30
- 場所：気仙沼市みやぎ生協メンバー集会室COOPぽけっと(気仙沼市東新城3-3-1 みやぎ生協メンバー集会室)
- 内容：【午前の部】10:00～11:30  
「LEDランタンづくり(LED工作教室)」  
【午後の部】12:00～16:00  
「講話」現在のエネルギー状況、ペレットや薪ストーブの暖房紹介、地域資源をいかした南三陸の復興住宅の事例紹介、省エネ設備などについて専門家から説明します。  
・ブース展示
- 対象定員：【午前の部】小学生以上 30名(先着順)  
※親子も歓迎！  
※小学生はできるだけ保護者をご参加ください。  
【午後の部】どなたでも 70名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先に、TEL・FAX・E-mailで申込み  
申込み時、氏名(ふりがな)、参加希望時間帯(午

前、午後、どちらも参加)、生年月日(午前の部のみ)、TELをご申告ください。

- 主催：公益財団法人みやぎ・環境とくらしネットワーク(MELON)
- 連絡先：担当：菅田  
TEL：022-276-5118 FAX：022-219-5713  
E-mail：melon@miyagi.jpn.org  
当日連絡先：090-1377-8867

## 6/29 仙台市まるごと児童館2014 ～コドモもオトナ オトナもコドモ～

乳幼児親子から大人の方まで、幅広い世代の皆さんに地域の施設として、児童館・児童センターを身近に感じてほしい！そんな思いから企画しました。会場でお待ちしています！

- 日時：6月29日(日) 2階11:00～開場、5階11:30～開場 ※最終入場14:30、終了15:00
- 場所：仙台駅前 AER2階アトリウム、5階多目的ホール(JR仙台駅から、ベデストリアンデッキで徒歩2分)
- 内容：ステージ発表、ブックトーク、ボードゲーム、乳幼児工作など
- 対象：乳幼児から大人まで
- 参加費：無料
- 主催：仙台市内児童館連絡協議会
- 連絡先：東四郎丸児童館  
(指定管理者：NPO法人FOR YOUにこここの家)  
〒981-1101 仙台市太白区四郎丸字大宮26-10  
TEL：022-242-2845

## 7/5 宮城まるごとマナビ塾(全3回)

宮城県のことをもっと知りたい、学びたいと考えている皆さん、ぜひご参加ください。全3回の講座で宮城県の魅力を再発見しましょう。

- 日時：①7月5日(土) 13:30～15:30  
②7月19日(土) 10:00～12:00  
③8月2日(土) 10:00～12:00
- 場所：仙台市生涯学習支援センター(仙台市宮城野区榴岡4-1-8) ※都合により会場・時間の変更有
- 講師：みやぎマスター検定1級合格者
- 内容：宮城県の歴史、文化、食、自然、観光について学びます。
- 参加費：無料(テキスト代は実費負担)
- 申込方法：6月2日(月)より受付開始  
往復ハガキに、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、宮城マスター検定取得の有無、TELを明記し下記連絡先まで郵送
- 主催：NPO法人マナビサポ20
- 連絡先：〒981-3213 仙台市泉区南中山5-5-32  
TEL/FAX：022-379-7347

### 情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。  
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6  
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327  
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト  
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

- 内 容：①全国各地の団体を交え、各地の活動状況を聞きながら、名取の海岸復興について地域の皆さんと話し合います。  
②臨空公園栽培畑で育成したハマボウフウの若苗を、閑上海岸「ハマボウフウ保護区」へ移植します。
- 参加費：無料
- 持ち物：②軍手、移植ベラ等
- 申込方法：当日参加も可能ですが、準備のため事前に氏名、連絡先(住所・TEL・E-mail)などを下記連絡先までご連絡ください。
- 主 催：NPO法人名取ハマボウフウの会
- 連絡先：TEL/FAX：022-385-2345  
E-mail：konno1942@gmail.com  
URL：http://hamabouhuu.info/

## 6/22 誰もが暮らしやすいまちづくりフォーラム 2014 Make the Right Real 権利を実現する!

.....  
この機会に障がいがある特別なものではないこと、社会の中にある障壁(バリア)、差別、虐待について一緒に考えてみませんか?

- 日 時：6月22日(日)13:30~16:30(開場13:00~)
- 場 所：仙台市シルバーセンター 7階 第1研修室  
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：★講演『誰もが地域で、生きてゆく-「共生社会」の実現のために』  
大野更紗氏(作家、難病当事者)  
★「条例の会仙台」活動紹介  
★障がい当事者の差別体験発表
- 対 象：どなたでも参加可
- 参加費：無料
- 申込方法：事前申込不要
- 情報保障：手話通訳有、要約筆記有、点字資料(要事前連絡)
- 主 催：誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会(愛称:条例の会 仙台)
- 連絡先：担当：杉山、小椋  
TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501  
E-mail：jyoureisendai@gmail.com  
URL：http://blog.canpan.info/jyourei

## 6/22 のぼそう!健康寿命 「ロコモ体操で健康づくり」

.....  
気軽に出来る体操を通して心身にもたらす介護予防の効果、健康で豊かな生活をおくるために必要な知識と技術を通して遊び、学びましょう。

- 日 時：6月22日(日)10:00~12:00(受付開始9:30~)
- 場 所：仙台市体育館 2階 第1研修室  
(仙台市太白区富沢1-4-1)  
※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 講 師：佐々木信之氏(佐々木整形外科麻酔科クリニック院長)
- 対 象：健康づくりに関心のある方  
※修了証書を授与します。
- 定 員：50名(要申込、定員に達し次第締切)
- 参加費：500円(資料代、保険料を含む)  
※当日受付にてお支払いください。
- 服 装：動きやすい服装と運動靴
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み
- 申込締切：6月14日(土)

- 主 催：仙台市太白区レクリエーション協会
- 連絡先：担当：阿保  
TEL・FAX：022-242-2887

## 6/25 被災地におけるDV被害者等サポート講座 DV(ドメスティック・バイオレンス)と 児童虐待~心身に及ぼす影響~

.....  
DV(ドメスティックバイオレンス:夫など配偶者からの暴力)、デートDVなど女性への暴力が今、大きな問題になっています。この機会にDVを始めとした家族の問題、セクハラ・パワハラなどの問題とその解決、回復について学んでみませんか?

- 日 時：6月25日(水) 13:30~16:30
- 場 所：石巻合同庁舎 5階 大会議室  
(石巻市東中里1-4-32)
- 内 容：◆13:30~15:20「DVと児童虐待~心身に及ぼす影響~」  
講師：西山さつき氏(NPO法人レジリエンス副代表)  
◆15:30~16:30「DV被害者の自立に向けた支援」  
講師：渡辺美保氏(NPO法人ハーティ仙台理事)
- 対 象：相談員、被災地支援員、民生委員児童委員、人権擁護委員、学校、PTA、保育士、警察、自治体職員、関心のある市民の方々
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先のいずれかにTEL・FAXで申込み
- 託 児：託児をご希望の方は申込時に併せてご申告下さい。
- 申込締切：6月19日(木)
- 主 催：宮城県
- 運 営：NPO法人ハーティ仙台
- 連絡先：◆石巻市地域協働課  
TEL：0225-95-1111(内線4233)  
FAX：0225-22-4995  
◆東松島市子育て支援課  
TEL：0225-82-1111(内線1184)  
FAX：0225-82-1110  
◆女川町健康福祉課  
TEL：0225-54-3131(内線132)  
FAX：0225-53-5482

## 6/28 宇宙の学校 at しおがま(全3回)

.....  
工作と実験、家庭学習を親子で一緒に取り組む、それが宇宙学校です。身近な材料を使って、工作・実験に挑戦します!

- 日 時：①6月28日、②8月2日、③10月4日  
各回とも13:30~15:30、すべて土曜日
- 場 所：ふれあいエスプ塩竈 エスプホール
- 内 容：①開校式、フィルムケースロケットを飛ばそう  
②皆既月食を観察しよう、月と地球、ホバークラフトを作ろう  
③静電気であそぼう、レポート発表、閉校式  
※3回参加した方に修了証を交付
- 対 象：小学校の親子40組(連続3回参加できる方)
- 参加費：1人につき1,000円(3回分)
- 申込方法：6月3日(火)より受付開始  
下記連絡先にTEL・FAXでお申込みください。
- 主 催：塩竈市、塩竈市教育委員会
- 連絡先：ふれあいエスプ塩竈  
〒985-0036 塩竈市東玉川町9-1  
TEL：022-367-2010 FAX：022-365-3741  
URL：http://shiogama-esp.blogspot.jp/

- 申込方法：下記連絡先に直接来所か、TELで申込み
- 主 催：一般社団法人WATALIS
- 連絡先：〒989-2351 亶理郡亶理町字中町22(店舗併設)  
TEL/FAX：0223-35-7341  
(10:00~16:00、土日祝は休業)  
E-mail：info@watakis.jp  
URL：http://watalis.jimdo.com/

## 6/19 Switch! 未来発見塾 「働いてなんだ!？」

なんとなく不安な将来のこと、就活のこと…誰かに聞いてみたい! すぐ近くにリアルに存在する大人たちの生き方、人生の選択術を車座で聞ける120分!

- 日 時：6月19日(木) 18:00~20:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 4階研修室5  
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師：『こんな人間でもアナウンサーになれた!!』  
森雅一郎さん(TBCアナウンス学院 学院長/フリーアナウンサー)  
『自分の心に素直に! あなたの想いは伝わる』  
一條一平さん(合資会社一條旅館 代表取締役)
- 内 容：1開催あたり2名の講座に参加可能(45分×2講座)  
※2講座目から参加希望の方は申込み時にお伝えください。  
★講座終了後、EQ診断の解説も行うカフェタイム(20:00~20:30)実施予定。  
★7月8日(火)キャリアカウンセラーによる「個別相談会」開催! 各回4名限定 ※要予約  
※各会場にて予約受付  
(Switch!未来発見塾参加者限定)  
今後の予定は下記Facebookに随時掲載します。
- 対 象：高校生、大学生、求職者、起業志望者
- 定 員：15名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL・E-mailにて申込み  
メールの場合、氏名、(学生の場合は)学校名、学年、TEL(当日連絡がつく番号)を明記し、申込み
- 主 催：NPO法人ハーベスト
- 連絡先：Switch!未来発見塾 担当：小角  
TEL：022-395-4311  
E-mail：switch@heartbest.net  
URL：https://www.facebook.com/switchheartbest

## 6/21 ファシリテーションセミナー基礎編

インストラクターとして、グループワーク等で必要な場のデザイン(場をつなぎ、つなげる)、対人関係(受け止め、引き出す)等のファシリテーションの知識やスキルの基礎を、参加型で楽しく学びます。

- 日 時：6月21日(土) 9:30~17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第1会議室
- 講 師：遠藤智栄氏(地域社会デザイン・ラボ代表)
- 定 員：先着20名
- 受講料：県内会員5,000円、県外会員4,000円、非会員6,000円※会員ではなくても参加可能。
- 申込方法：締切日までに下記連絡先にFAX・郵送で申込みのうえ、指定の口座に受講料を振込み。  
申込み時、氏名(フリガナ)、住所、TEL・FAX・携帯、E-mail、振込日、会員か非会員かをご申告下さい。会員の方は会員NOと資格も併せてご申告下さい。  
※1週間前までのキャンセルは返金致します。その後のキャンセルは返金不可。
- 入金方法：【ゆうちょ振替口座】02290-5-134893  
【加入者名】NPO法人日本交流分析協会東北支部  
※通信欄に「ファシリテーションセミナー」と記入
- 申込締切：6月13日(金)
- 主 催：NPO法人日本交流分析協会東北支部
- 連絡先：〒984-0051 仙台市若林区新寺2-1-20  
桜井コーポ206  
TEL/FAX：022-355-7810  
URL：http://jtaatouhoku.web.fc2.com/

## 6/21 名取の海岸再生を目指す 海岸のお花畑づくり ~第13回ふるさと海辺フォーラムと ハマボウフウ移植会~

津波にも負けず生き残ったわずかなハマボウフウを守り、自然豊かな海辺環境を再生し次世代に継承したいのです。みなさんのお力をお貸しください。

- 日 時：①6月21日(土) 13:00~17:40 ※雨天決行  
②6月22日(日) 10:00~12:00  
※小雨決行。荒天時は6月29日(日)に延期
- 場 所：①閑上小学校 3階音楽室  
②閑上海岸ハマボウフウ保護区

### 縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体			
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県 子ども育成支援 団体キハト会	大河原町	大河原の子ども達に対する、学童保育等の健全育成支援事業	4/22
宮城県 等 ビザ&ライフサポート インみやぎ	富谷町	宮城県在住の外国人に対する、生活支援及び出入国管理制度の相談に関する事業	4/22
仙台市 ものづくり工学リ サーチセンター	青葉区	素材工学分野における人材育成に関する事業、素材工学分野に関する調査事業、素材工学分野に関する技術普及事業等	4/17

NPO法人に認証された団体			
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県 等 ジョイフル網地島	石巻市	石巻市の網地島における、住民参加型の島おこし活動	4/16
宮城県 等 田の浦ファンクラブ	本吉郡 南三陸町	東日本大震災で被災した地域・コミュニティの再生等、まちづくりに関する活動	4/23
仙台市 宮城国際ビジネ ス交流支援ネット	太白区	国際ビジネス交流促進に向けた各種セミナー等の開催及び参画交流事業、文化・芸術・技術品等すぐれものの汎用化に向けた各種支援活動、すぐれものや各種特産品等の販売を支援する活動等	4/23

### 宮城県のNPO法人数

# 776

団体

宮城県等所轄：358団体

仙台市所轄：418団体

※2014年5月10日現在

**6/16** 市民活動団体のための心をつかむ!企画の立て方講座  
+あれこれ情報交換会~活動資金を集めよう!~

**6/15** 「すべてのこどものいのちの輝きを」特別講演会  
ほめの科学

ほめることの効果の本質は何なのか、ほめることや「ポジティブ・メッセージ」がマイナスになる場合など、具体的な実験や調査の結果を紹介し、ほめることの本質的な意味を考えていきます。

- 日 時：6月15日(日)  
14:15~15:30終了予定(開場14:00~)
- 場 所：仙台厚生病院 熊谷・海老谷ホール  
(仙台市青葉区広瀬町4-15)  
※会場へは公共交通機関をご利用ください。
- 講 師：仁平義明氏(ワンダーポケット会員、白鷗大学教育学部教授)
- 申込方法：下記連絡先にハガキかFAX・E-mailで申込み  
申込み時、お名前、ご住所、電話番号をご申告  
ください。  
※事前申込なしでの受講も可能ですが、会場収容  
人数に限りがございますのでご注意ください。
- 主 催：NPO法人ワンダーポケット
- 連 絡 先：〒981-0951 仙台市青葉区滝道46-8-101  
TEL/FAX : 022-277-5702  
(TELお問合せは月・木10:00~17:00)  
E-mail : [info@w-p.jp](mailto:info@w-p.jp)

- 日 時：6月16日(月)  
【第1部】13:30~15:30(講座)  
【第2部】16:00~17:00(情報交換会)
- 場 所：名取市役所 6階東側会議室
- 講 師：大久保朝江氏(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象：名取市内で活動するNPOや市民活動団体のメン  
バー、名取市にお住まいで市民活動に興味のある方など
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先に、TEL・FAX・E-Mailで申込み
- 主 催：名取市
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：名取市市民活動支援センター  
〒981-1232 名取市大手町5-6-1  
TEL : 022-382-0829 FAX : 022-382-0841  
E-mail : [npo@natori-npocenter.or.jp](mailto:npo@natori-npocenter.or.jp)  
URL : <http://blog.canpan.info/natori/>

**6/15** ブックトーク「みえないものがみえる」

あるテーマの下で、数冊以上の本をシナリオにしたがって順次紹介していく手法をブックトークといいます。「みえないものがみえる」をテーマに、図書館職員がおすすめの本を紹介します。

- 日 時：6月15日(日) 11:00~12:00
- 場 所：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア  
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 対 象：どなたでも
- 参 加 費：無料
- 申込方法：直接会場へお越しください
- 主 催：Book!Book!Sendai 2014実行委員会
- 連 絡 先：E-mail : [books2014@bookbooksendai.com](mailto:books2014@bookbooksendai.com)  
URL : <http://bookbooksendai.com/>

**6/19** 「トートバッグを作る会」  
リバーシブルランチバッグ編

ステキな生地で作るトートバッグを作りましょう。行楽シーズンに、お弁当を入れて、お出かけしましょう♪作った後は、みんなと一緒にお茶を飲みながら楽しい時間を過ごしましょう。

- 日 時：6月19日(木)、6月26日(木)  
いずれの日程も10:00~13:00
- 場 所：亙理町字中町22  
(WATALIS工房隣の白い箱型の建物)
- 講 師：小川百恵氏、齋藤真奈美氏(手しごと愛好家)
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 持 ち 物：裁縫道具

かほく「108」クラブ通信 河北新報普及センター

わが社のメイン業務は、仙台市泉区、名取市、富谷町、大和町内の計15の販売所で行っている河北新報朝・夕刊の宅配です。合わせて旅行業、保険代理業など各種サービス事業を展開しております。

社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

例えば、泉区の将監販売所では、ご高齢の方を対象に、古紙回収の支援を行っています。読み終えた新聞をはじめとする古紙の処理はなかなか大変で、特に高齢者には大きな負担となっています。そうした処理作業を少しでも軽減させたい、と支援に乗り出しました。これからもずっと続けてまいります。



▲お年寄りにも好評です

体的な日々の会計処理の方法までを分かりやすく学びます。

- 日 時：6月13日(金)13:30～16:30(受付開始13:00～)
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：平野由紀子氏(税理士)
- 内 容：会計業務の流れ、勘定科目の設定、帳簿の付け方など
- 対 象：NPOの会計担当者や理事、監事これから会計を担当される方、再確認したい方など
- 定 員：20名(申込先着順)
- 参加費：1,000円(税込)
- 持ち物：電卓、筆記用具
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み  
申込書は<http://p.tl/PloS>よりダウンロード可能
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

## 6/14 不登校・高校中退・発達障がい 震災復興自立支援セミナー&シンポジウム

私たちは教育と学習支援を中心とし、不登校児童生徒などの学校復帰と社会での自立を目標にサポートを行っています。不登校、発達障がい、引きこもりの方の学校復帰、社会的自立の仕方を、私たちの長年に渡る活動実践をもとにお話します。

- 日 時：6月14日(土)13:00～16:00
- 場 所：多賀城市市民活動サポートセンター  
(多賀城市中央2-25-3)
- 内 容：◆基調講演「不登校解消へ、星槎名古屋中学校の取り組み」  
講師：安部雅昭氏(学校法人国際学園星槎名古屋中学校校長)  
◆シンポジウム「不登校解消と自立、民間教育機関の取り組みと連携」  
・パネリスト  
安部雅昭氏(星槎名古屋中学校校長)  
石川昌征氏(フリースクールだいと)  
桑名暢氏(キャリアプランニング株)  
畠山明氏(家庭教師のアップル)  
・コーディネーター 土佐昭一郎氏(NPO法人ミヤギユースセンター代表)
- 参加費：無料(予約不要)
- 申込方法：下記連絡先にTELにて申込み
- 主 催：NPO法人ミヤギユースセンター  
星槎国際高等学校仙台学習センター
- 連絡先：NPO法人ミヤギユースセンター  
TEL/FAX：022-256-7977  
E-mail：miyagi\_yc@ybb.ne.jp

## 6/14 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ち等を、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

- 日 時：14:00～16:30開催  
★岩沼会場6月14日(土) 場所：岩沼市民会館  
★仙台会場6月21日(土)  
場所：仙台市市民活動サポートセンター  
★気仙沼会場6月28日(土)  
場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」  
気仙沼会場は、13:00～15:30開催
- 対 象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参加費：無料
- 申込方法：不要 ※託児をご希望の方は要事前問合せ
- 主 催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3  
仙台市市民活動サポートセンター内No.85  
TEL：070-5548-2186  
E-mail：griefoffice@gmail.com

## 6/15 傾聴ボランティア養成講座

当会では、傾聴ボランティア活動を通して、孤立する方々の心に寄り添うことを心がけています。日常の中に生かせる「傾聴」あなたも身につけてみませんか？

- 日 時：時間すべて10:00～15:00  
①6月15日(日)「傾聴の基本」「共感と受容」  
場所：仙台福祉プラザ1階 プラザホール  
②6月23日(月)「傾聴のスキル」「ロールプレイング」  
場所：仙台福祉プラザ11階 第1研修室  
③6月30日(月)「認知症」「コミュニケーションエクササイズ」  
場所：仙台福祉プラザ11階 第1研修室  
※3日間全過程出席の方に修了証を発行
- 定 員：30名程度(定員に達し次第締切)
- 受講料：6,000円(お振込みいただいた受講料は返金いたしません)
- 申込方法：最初に必ず電話にて申込み。受講料のお振込みを確認し受付完了となります。  
振込先 口座番号：ゆうちょ銀行 02220-8-134520  
※通信欄に住所、氏名(ふりがな)、TEL・FAX、養成講座受講料と必ず明記  
※振込票は講座初日に持参
- 持ち物：筆記用具、昼食(各自持参)、動きやすい服装
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：担当：森山

## ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2014.5.16現在) 敬称略

●正会員 52名

●賛助会員 81名

★愛知県みよし市 ●NPO法人あいちNPO市民ネットワークセンター

## 会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	—□ 3,000円
賛助会員NPO	—□ 5,000円
賛助会員企業・団体	—□ 20,000円

### 郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**  
加入者名 **特定非営利活動法人  
杜の伝言板ゆるる**  
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください)  
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

# information

5月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ボランティア情報

### 森の長城プロジェクト 岩沼市千年希望の丘植樹ボランティア募集

岩沼市の千年希望の丘で植樹を行います。震災で発生したガレキでマウンドを作り、丘を作る森の防潮堤です。その場所に色々な広葉樹を植えていきます。皆さまのご参加お待ちしております！

- 日 時：6月14日(土) 10:30~14:00(予定)  
※雨天決行、荒天中止
- 場 所：岩沼市千年希望の丘  
(仙台空港より東・岩沼市下野郷字浜地内)
- 活動内容：植樹と丘の手入れ
- 定 員：100名(定員に達し次第締切)
- 持 ち 物：汚れてもよい服装、作業靴、軍手、リュックサック、タオル、帽子、飲み物、移植ゴテ(雨天時：雨具・長靴)  
必要と思われる方は昼食をご持参ください。
- 申込方法：下記連絡先まで、参加者名、性別、連絡先を明記しTEL・FAX・E-mailで、事前申込み(保険加入のため)  
※携帯のメールで申込みをされますと返信が届きません  
※子どものみ参加不可。必ず保護者同伴でご参加ください
- 主 催：NPO法人KIDS NOW JAPAN
- 連 絡 先：〒984-0827 仙台市若林区南小泉4-11-20-201  
TEL：022-285-7130 FAX：022-766-9554  
E-mail：kidsnow.2012@gmail.com(携帯メール不可)  
URL：http://www.kids-now.net/?p=1230

### こりれいずボランティア募集

#### 一緒に、子どもたちと遊びませんか？

こりれいずでは、子どもたちが親でも、教師(指導者)でもない、もうひとつの地域の大人との関係を育むために“あそび”と一緒に楽しむ機会を提供している団体です。私たちの活動に参加してみませんか？関心のある方、まずはお問い合わせください。

- 活動日時：不定期活動で、その都度案内(年間15回程度)  
自主活動は主に日曜の午後、児童館への出前は、主に土曜  
定期的に第二月曜に児童館での活動有
- 活動場所：主に仙台市内の児童館、市民センター、公園など
- 活動内容：①国内外のボードゲーム等を使ったゲーム会  
②児童館への遊びの出前(児童館からの要請)等々
- 連 絡 先：こりれいず(代表：須藤)  
TEL：070-5470-6355  
(非通知不可/17時前は留守電のためボラ参加希望の録音があれば追って連絡)  
E-mail：korireizu@gmail.com

### 仙台市全身性障害者ガイドヘルパー派遣事業 ガイドヘルパー募集

社会福祉法人仙台市障害者福祉協会では、脳性麻痺等による全身性障がいのある方が病院や公的機関へ行く場合などの付添を行ってくださるガイドヘルパー(ボランティア)を募集しています。

- 応募資格：◆介護職員初任者研修課程(ホームヘルパー養成研修2級課程)、全身性障害者移動介護従事者養成研修、いずれも修了している方  
◆利用者様が推薦された方については資格の有無を問いません
- 活動内容：1人での外出が困難な全身性障がい者の方が病院や公的機関へ行く場合などに付添を行います。
- 時 間 帯：9:00~20:00
- 活動範囲：宮城県内
- そ の 他：ガイドヘルパーはボランティアとして仙台市に登録。※登録期間は3年
- 申込方法：下記連絡先まで問合せ
- 応募主体：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会
- 連 絡 先：〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2  
仙台市福祉プラザ8階  
TEL：022-266-0294 FAX：022-266-0292  
E-mail：office-p@shinsyou-sendai.or.jp  
URL：http://www.shinsyou-sendai.or.jp/

## イベント

### 6/10 石巻パソコン教室 「パソコンを楽しむ」(初心者対象)

あなたのペースに合わせて、文書やはがき作成、表計算を学びませんか？メールやインターネットも学ぶことができます。またあなたのノートパソコンを持参しての学習も可能です。

- 日 時：6月10日、17日、24日  
※毎週火曜日 14:00~16:00
- 場 所：市民協・いしのまきハウス(石巻田道町1-15-2)
- 費 用：1,000円(1回)
- 定 員：5名(初心者対象)
- 申込方法：前日までにTEL連絡の上ご参加ください。
- 主 催：NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ
- 連 絡 先：TEL：0225-23-9066

### 6/13 不安を解消！ NPO法人のための会計初級講座

「NPOの会計は初めてでよく分からない」「帳簿の付け方に決まりはあるの？」などのお悩みごとはありませんか？NPO会計の基礎から、一般企業とは異なる特徴、帳簿の付け方、具

宮城県と協働でNPOの活動をサポート!!

◆ろうきんはNPOの活動を応援しています!!◆

## 宮城県NPO活動支援融資制度をご活用ください!!

- 対象：1年以内に国または自治体等からの委託金・補助金、および団体からの助成金等の受給が確定している特定非営利活動法人(NPO法人)
  - 資金使途：つなぎ資金
    - (1)行政からの委託事業、支援費等補助金のつなぎ資金
    - (2)助成金決定から交付までのつなぎ資金
    - (3)その他のつなぎ資金
  - 融資額：委託金・補助金・助成金等の範囲内
  - 融資種類：手形貸付
  - 金利：年1.70% (固定金利)
  - 保証：代表者1名以上の個人保証
  - 返済期間：1年以内
  - 担保：不要
  - 取扱窓口：宮城県内の全営業店
- ※審査の結果、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



全国の金融機関に先駆けてろうきん業態が取扱いを開始したNPO事業サポート融資制度。東北ろうきんでは2005年4月より宮城県と提携して取扱いを開始しています。

2014年5月1日現在



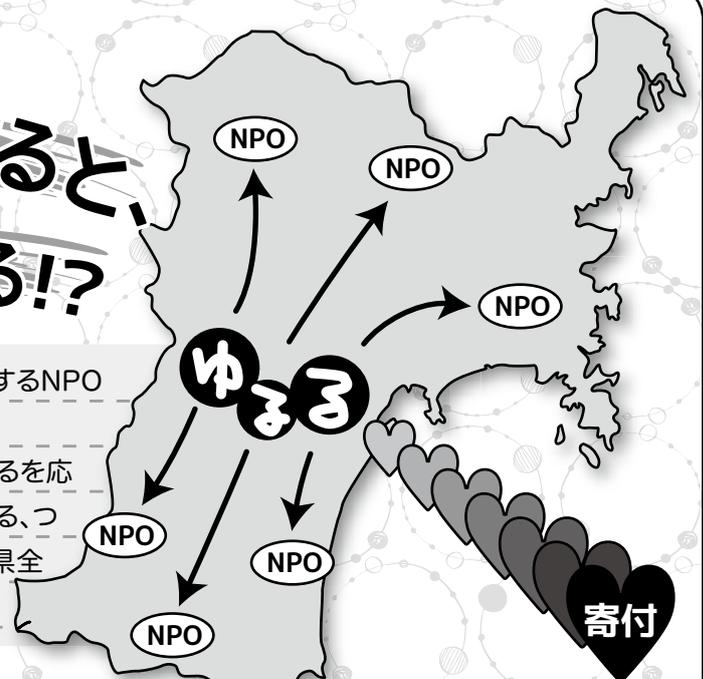
お問合せ・お申し込みは<東北ろうきん>宮城県内の最寄りの店舗へ

☎ 0120-1919-62

## ゆるるるに寄付をすると、みやぎのためになる!?

私たち、杜の伝言板ゆるるるは宮城県内で地域のために活動するNPOを応援しています。そんなゆるるるを応援してください!

「風が吹けば桶屋が儲かる」ではないですが、あなたがゆるるるを応援する→ゆるるるがNPOを応援する→NPOが地域を応援する、つまり、ゆるるるを応援することはあなたの地域も含めた宮城県全域を応援することにつながるのです。



※2014年1月に杜の伝言板ゆるるるは認定NPO法人となりました。ゆるるるへの寄付は税制優遇対象となりますので、確定申告の際に税額控除が受けられます。